

帝京大学医学部 麻酔科学講座

Front Line

所在地 〒173-8605
東京都板橋区加賀 2-11-1
公式サイト <http://www.teikyo-masui.jp/>
開講 1971年



主任教授 澤村 成史
教授 澤 智博、中田 善規
病院教授 関山 裕詩
准教授 高田 真二、原 芳樹
病院准教授 宇野 幸彦
講師 柿沼 玲史、坂本 英俊、杉 正俊、長谷 洋和、南部 隆、原島 敏也、安田 篤史
助教 安楽 和樹、澤井 淳
その他 助手 19名、海外留学中3名、修練医9名、修練生3名、大学院生1名

教室のあゆみ

帝京大学医学部附属病院は、1971年に開院し、麻酔科はショック、蘇生学を特色として発展してきました。2009年より新病院が開院し、一般ICU、ペインクリニックが整備され、業務がさらに充実いたしました。

手術麻酔

当院の年間手術件数は約9,500件、麻酔科管理症例数は約7,100件となっています。2009年5月の新病院開院に伴い手術件数は増加の一途を辿っており、麻酔科医の活躍の場はますます増えています。

新病院開院後から、外傷センター、ERセンターを開設しております。都内第1位のホットライン受入数(年間約2,000件)の救命救急センターとともに救急医療が非常に充実しており、当麻酔科が重要な一翼を



神経ブロック講習会



納涼会

担っています。また、総合周産期母子医療センターが整備されており、麻酔科も母体搬送による緊急帝王切開術に24時間体制で対応しています。さらに、がん拠点病院として、安全ながん手術が多数できるような体制を目指しています。

当院は心臓血管外科手術の症例が豊富であり、ハード・ソフトの両面でシステムが整っているため充実した心臓麻酔の研修が行われています。

最近では超音波ガイド下での神経ブロックが頻用されています。海外で神経ブロックの研修を受けた麻酔科医も複数在籍しており、神経ブロックによる効果的な鎮痛方法を学ぶことが可能です。

集中治療

ICUでは医師が交替制で24時間の集中治療に従事しています。ICU専任麻酔科医師の他、専攻医も適宜ローテーションをします。各科の重症患者の他に、侵



朝カンファレンスの風景

襲度の高い手術後の患者さんも多いのが麻酔科管理ICUの特徴と言えます。術前・術中だけではなく術後管理も行うため、周術期を一貫して学べる場とも言えます。

また、Closed ICUのシステムを採用しており、麻酔科医師がチーム医療の統括を行っています。各科医師とは毎日カンファレンスにおいて議論を重ね、最善の治療を探っていきます。

ペインクリニック

ペインクリニックの目的は患者の痛みの軽減と生活の質(QOL)の向上です。適切な診断を通して患者個々の状況に応じた治療内容を選択していきます。具体的には「薬物療法」、「心理療法」、「運動療法」、「神経ブロック療法」、並びに漢方や鍼治療などの東洋医学的アプローチといった、様々な方法を用います。

専攻医は、専門医の指導の下、自ら主治医の一人として研修を行います。また学会発表や論文投稿についても積極的に支援しています。希望者はペインクリニック学会専門医取得を目指します。オピオイドをはじめとする各種鎮痛薬の使用に長け、区域麻酔の専門家と言える麻酔科医が、手術室の外でも活躍するフィールドとして、ペインクリニックは考慮すべき最適なサブスペシャリティと言えます。

以上のように、当科は様々な分野の症例が豊富であり、充実した臨床研修ができる場であると自負しています。

教室の行事

4月に新入局員歓迎会、夏に納涼会、12月には毎年三ツ星レストランにて忘年会を行っております。どの会も、学生・研修医の方々を多数招待しています。

秋には関東圏の麻酔科医局対抗の野球大会である青



新入局員歓迎会

洲杯に去年より参加しています。教授をはじめ、参加する医局員たちは休みを利用してトレーニングを行っております。

多方面にわたる活躍

多くのスタッフは、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリアなどで臨床医療に携わってきました。世界レベルを知るスタッフだからこそできる教育があります。今後も臨床・研究留学生を派遣し、世界で通用する麻酔科医の育成に努めます。

我々の守備範囲は、臨床麻酔に限りません。内科から外科まで幅広い臨床医を輩出しています。また、医療のみに留まらず、経済学やコンピュータサイエンスなどの他分野を研鑽したスタッフが活動しています。こうしたスタッフが臨床医学に新たな視点を加えて、知的好奇心を刺激しています。今まで考えもしなかったキャリアが開けるきっかけになるかもしれません。



青洲杯

医局のビジョン

当科は、(1)医療を通じた地域貢献、(2)円満な人格を有した有為な人材の育成、(3)個々人の可能性の追求、を目標に日々研鑽を積んでおります。当科に興味をもった方は、是非お気軽にご連絡ください。